

大学院博士全科生 2027年度入学希望者ガイダンス

放送大学大学院博士後期課程は、1研究科（文化科学研究科）、1専攻（文化科学専攻）の下に、6つのプログラムを設けています。各プログラムの教育目標は以下の通りです。

○生活健康科学プログラム

生活科学、健康科学、社会福祉学及びそれらの学際領域における高度な自立的研究能力を有し、専門的かつ総合的な広い学識を実践に活用するとともに、人々の生活と健康の向上に資する公共的施策もしくは地域社会の形成をリードすることのできる人材、及び当該領域において自立的・創造的に高度な研究を遂行することのできる人材の養成

○人間科学プログラム

心理学、臨床心理学、教育学及びそれらの学際領域における高度な自立的研究能力を有し、専門的かつ総合的な広い学識を実践に活用するとともに、人々の心のあり方の究明とその問題状況の解決に取り組み、子どもの教育、高等教育さらには成人の学習に関わる公共的施策を高度に指導することのできる人材、及び当該領域において自立的・創造的に高度な研究を遂行することのできる人材の養成

○社会経営科学プログラム

政治学、経済学・経営学、社会学などに加えて、これらの学際領域における高度な自立的研究能力を有し、専門的かつ総合的な広い学識を実践的に活用して直面する社会的諸課題を的確に発見し、その要因と背景を究明して問題状況の解決に取り組み、社会や組織の経営・運営に関わる公共的施策を高度に指導することのできる高度な社会人研究者として公共の場で活躍できる社会分析家（アナリスト）・社会的企業家、公共政策の社会実践家・社会批評家（ジャーナリスト）、学際的・超領域的な社会研究者、及び当該領域において自立的・創造的に高度な研究を遂行することのできる人材の養成

○人文学プログラム

哲学、文学、言語学、美学、歴史学、人類学及びそれらの学際領域における高度な自立的研究能力を有し、専門的かつ総合的な広い学識を実践に活用するとともに、さまざまなジャンルの文化の普及啓蒙や地域社会・職場等における研究の遂行や公共的施策を高度に指導することのできる人材、及び当該領域において自立的・創造的に高度な研究を遂行することのできる人材の養成

○情報学プログラム

情報の生成・探索・表現・蓄積・管理・認識・分析・変換・伝達に関わる原理と技術を探求し活用する高度な自立的研究能力を有し、専門的かつ総合的な広い学識を実践に応用するとともに、情報とその処理、及び情報化が人間と社会に及ぼす諸問題を的確に発見し、その要因と背景を究明して問題状況の解決に取り組み、高度な指導力を発揮できる人材、及び当該領域において自立的・創造的に高度な研究を遂行することのできる人材の養成

○自然科学プログラム

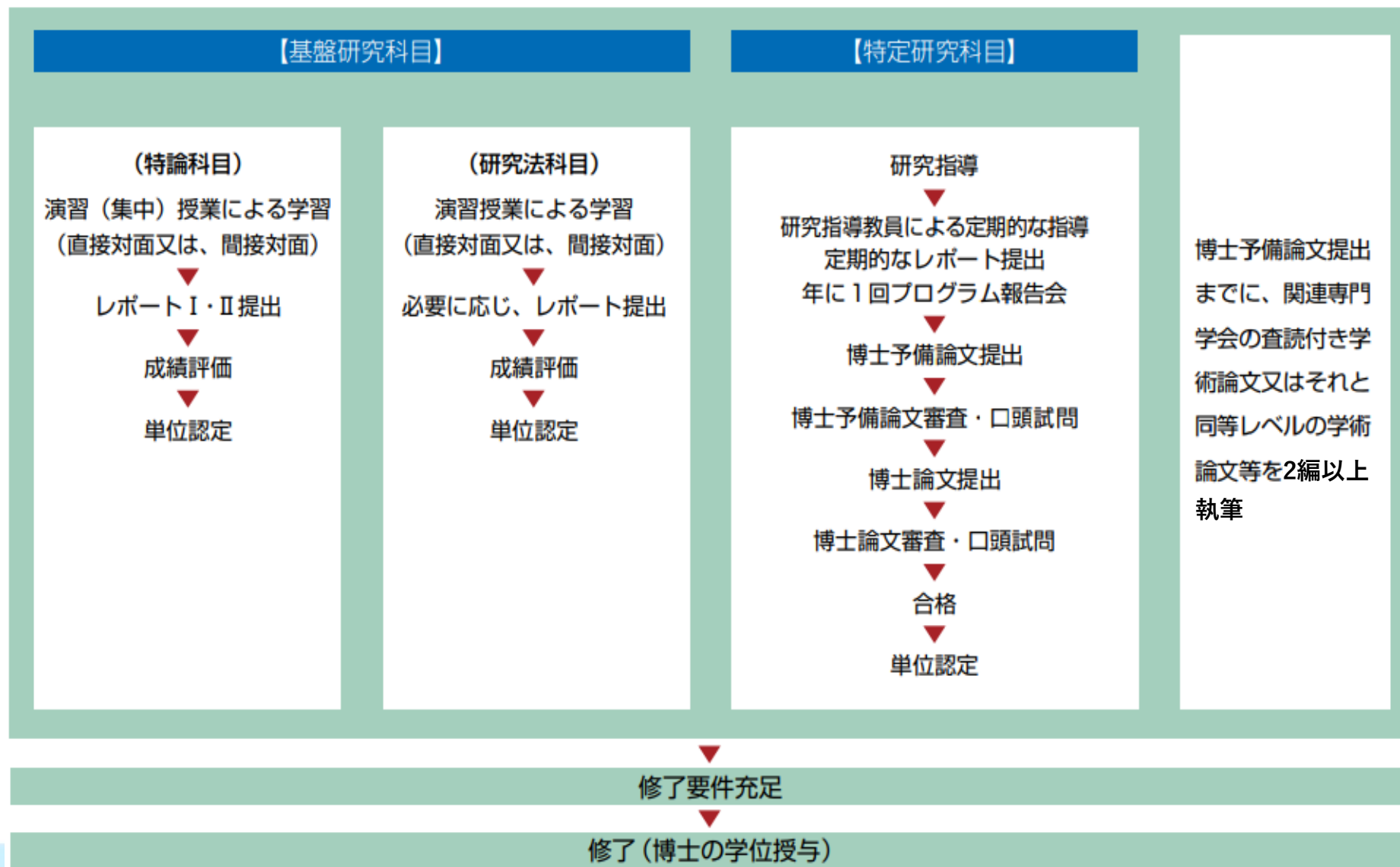
数学、物理学、化学、生物学、地球惑星科学、天文学及びそれらの学際領域における高度な自立的研究能力を有し、専門的かつ総合的な広い学識を実践に活用するとともに、現下の自然科学にまつわる諸問題を的確に発見し、その要因と背景を究明して問題状況の解決に取り組み、高度な指導力を発揮できる人材、及び当該領域において自立的・創造的に高度な研究を遂行することのできる人材の養成

■研究指導体制について

◎主研究指導教員1名（メジャー分野の教員1名）、副研究指導教員2名（マイナー分野の教員1名およびメジャー分野またはメジャー隣接分野の教員1名）の研究指導体制で博士論文作成のための研究指導を行います。



修了までの流れ



指導方法

基盤研究（「特論」と「研究法」）

第1年次（2学期）

～第2年次（2学期）

- ・メジャー分野の「研究法」
- ・メジャー分野またはメジャー隣接分野の「研究法」
- ・マイナー分野の「研究法」

第1年次（1学期）

- ・各プログラムの「特論」

特定研究（研究指導）

第3年次

- ・データ・資料の調査・分析
- ・事例研究（フィールドワーク、文献調査、資料調査、アクションリサーチなど）
- ・博士論文の作成
- ・プログラム報告会

第2年次

- ・データ・資料等の整理・分析
- ・博士論文の中心的な柱となる論文作成
- ・事例研究（フィールドワーク、文献調査、資料調査、アクションリサーチなど）
- ・プログラム報告会

第1年次

- ・事例研究（フィールドワーク、文献調査、資料調査、アクションリサーチなど）
- ・プログラム報告会

学費

- (1) 基盤研究科目の1単位当たりの授業料は、48,000円です。
- (2) 研究指導料は1年分（384,000円）を入学時に納入します。
以後、修了までに研究指導料（1年間につき384,000円）を1年ごとに引き続き納入していただくことになります。
- (3) 在学中に授業料・研究指導料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料・研究指導料が適用されます。

入学検定料	入学料	授業料（基盤研究科目）	研究指導料（特定研究科目）
30,000円	48,000円	48,000円/単位	384,000円/年

< 修了までにかかる費用（最短修了の場合） >

入学検定料	30,000円	} 合計 1,470,000円
入学料	48,000円	
授業料	240,000円（5単位）	
研究指導料	1,152,000円（3年間）	

（参考：国立大学の大学院）

入学料	282,000円	
授業料	1,607,400円（535,800円/年）	合計 1,889,400円

出願・入学者選考スケジュール（募集要項2ページ）

【出願受付期間】

[郵 送]

● 2026年8月15日（土） ～ 8月25日（火） **消印有効**

受験票：2026年9月11日（金）発送

【第1次選考：筆記試験】

- 実施日：2026年10月3日（土）
- 場 所：各学習センター
（東京渋谷学習センター・サテライトスペースを除く）

第1次選考の可否通知：2026年10月30日（金）発送

【第2次選考：面接試問（第1次選考の合格者）】

- 実施日：2026年11月7日（土）
- 場 所：Web会議システム（Zoom）または対面による実施

第2次選考の可否通知：2026年12月18日（金）発送

障がいのある方で合理的配慮を希望される方（募集要項4ページ）

- ◇ 障がいのある方を対象に、入学者選考時における受験上および入学後における修学上の合理的配慮を行っています。
- ◇ 合理的配慮を希望される方は、申請期間内に申請書類の提出が必要です。

【申請期間】

2026年6月10日（水）～7月10日（金）【必着】

※出願期間(8/15～8/25)と異なりますのでご注意ください。

※ご希望の配慮事項によっては、審査及び準備に時間を要する場合がありますため、締切を厳守してください。

※対応可能と判断した配慮内容について2026年8月7日（金）に通知書を発送予定

【合理的配慮申請書類】

- ①合理的配慮申込届（[本学ウェブサイト](#)から入手する本学所定様式）
- ②障害者手帳の写し または 医師の診断書（原本）
- ③返信用封筒

【合理的配慮申請書類提出先】

〒261-8586 千葉市美浜区若葉2-1-1
放送大学学務部教務課大学院企画・入試係

特定研究（募集要項8ページ）

- ◇ 主研究指導教員については、出願時の研究テーマや研究計画等をもとに、入学試験面接試問等により領域適合性等を確認し、合格者に対して**本学が最適と判断した専任教員を充てることとしています**。副研究指導教員については、入学後のオリエンテーションでの主研究指導教員との面談後、**本学が最適と判断した専任教員を充てることとしています**。
※必ずしも希望どおりになるとは限りませんので十分ご注意ください。
- ◇ 研究指導は、個別やゼミナール形式による直接対面指導や、Web会議システム等インターネットを活用した指導を行いますが、どのような方法で指導を行うかは、**入学後、主研究指導教員が学生と相談した上で、主研究指導教員が決定**します。

プログラムの選択（募集要項8ページ）

お考えの研究テーマが
本学のプログラムで
指導可能か確認されたい場合
※出願後のプログラム変更はできません

募集要項8ページ記載の方法で
相談期限までに担当部署へ
メールで問い合わせ
【相談期限：7月末日まで】
(回答まで2週間程度を想定し、早めにご相談ください)

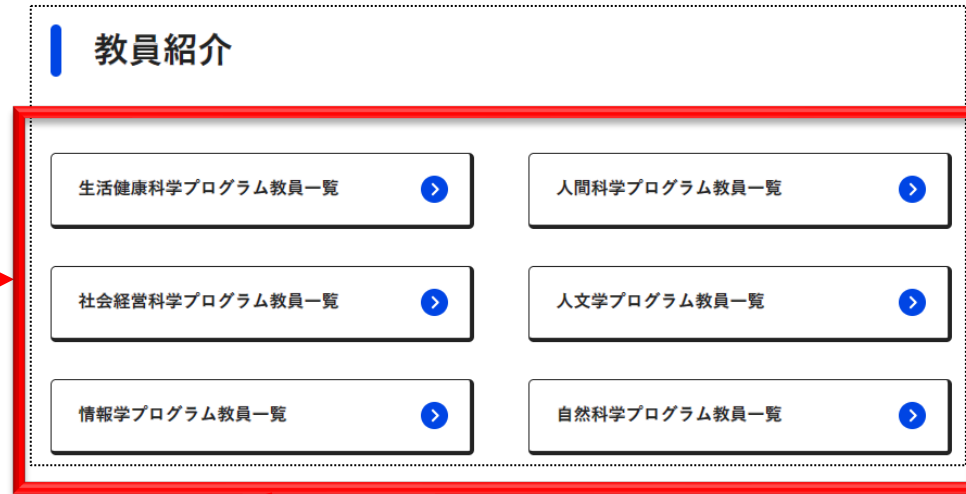
ウェブサイト掲載の各プログラムのガイダンス資料も必ずご確認ください。

(参考) 研究者業績

1. 「大学院博士後期課程について」をクリック



2. 表示された画面を下にスクロールし「プログラム名」をクリック



3. 「教員名」をクリック



4. 「研究者情報」をクリック



研究者業績が確認できます。

- 研究分野
- 論文
- 書籍等出版物
- 所属学会
- など

※掲載項目は教員によって違いがあります。

出願資格（募集要項9ページ）

- ◇ 修士の学位または専門職学位を有する方（学位取得見込みの方、法令等によって修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された方を含む）、または、本学大学院が行う出願資格事前審査において、修士の学位または専門職学位を有する方と同等以上の学力があると認められた方です。

出願資格事前審査（募集要項10ページ）

- ◇ 修士の学位または専門職学位を有する方と同等以上の学力があると本学大学院が認定した場合に出願資格を認める制度です。
※詳細は募集要項10ページにてご確認ください。

- ・ 申請期間：2026年6月10日（水）～7月10日（金） **【必着】**
- ・ 申請書類：募集要項10ページ参照
- ・ 審査結果：2026年8月7日（金）に通知文書を発送予定

【申請書類送付先】

〒261-8586 千葉市美浜区若葉2-1-1
放送大学学務部教務課大学院企画・入試係

入学者選考方法（募集要項12・13ページ）

【第1次選考】（筆記試験）

- ◇ 英語読解試験では、「語彙力よりも文脈の理解力や論旨の把握力」を中心に評価を行います。
- ◇ 小論文試験では、「出題意図の的確な理解、客観的な論拠提示の適切さ、論理的構成や文章表現の的確さ、論理一貫性などの観点」から評価を行います。
- ◇ 過去3年分の筆記試験問題を[本学ウェブサイト](#)で公開しています。

【第2次選考】（面接試験）

- ◇ 第1次選考の合格者に対して、提出された研究計画書、志望理由書および修士論文等をもとに面接試験を行い、「テーマの領域適合性、受験者の研究意欲、職業・社会生活上の経験、研究者としての資質、面接応答の的確さ、研究テーマの実現可能性・発展可能性・将来性等」の観点から総合的に評価を行います。
- ◇ 最終合格者は、筆記試験および面接試験の結果に基づき決定します。
(配点比率は50：50です)

募集人数と昨年度の出願・合格者数

プログラム名	募集人員	昨年度出願者数	昨年度合格者数	昨年度倍率 (出願者数/合格者数)
生活健康科学	15名	15名	17名	5.82倍
人間科学		21名		
社会経営科学		20名		
人文学		19名		
情報学		14名		
自然科学		10名		

出願全般に際しての注意事項

- ◇ **出願には、必ず最新の学生募集要項を入手いただく必要があります。**
- ◇ 出願は「**郵送**」で行ってください。
- ◇ 出願できるのは1プログラムに限ります。
- ◇ **期限は厳守してください。** 期限後の消印の出願書類は一切受付できません。
(出願資格事前申請書類、合理的配慮申請書類は期限内に【**必着**】のこと)
- ◇ 出願書類に不備がある場合は、出願を受理できかねます。これまでに在籍した教育機関からの証明書の発行等に時間を要する場合がありますので、十分にご注意ください。
- ◇ 出願書類は、巻末に綴じ込んである所定の出願用封筒に入れ、必ず郵便局に行き、簡易書留郵便または一般書留郵便で送付してください。
電話等による出願書類の到着確認対応は行っておりませんので、日本郵便が行っている「郵便追跡サービス」でご自身でご確認ください。

みなさまのご出願を
心よりお待ちしております

放送大学
学務部教務課